



市ヶ谷だより

法政大学
市ヶ谷キャンパス
教職課程センター

2022年1月号(12/10発行)

◆絶対に見逃すな！先輩の「合格体験記」に合格への秘訣あり◆ 今回は「支え合う力」

○ 秋から冬にかけて：小論文や筆記問題が徐々に解くことができるようになっていく中で、個人面接は一向に成長しませんでした。その一番の原因は志望動機についてでした。正直、昔から教員になりかけたわけでもなく何を言っても嘘臭く感じました。しかし、教育実習やボランティアの中で子どもと向き合う中で気付くことは多く、そうした経験を踏まえて志望動機を考えました。皆さんも教育実習やボランティアでの経験は必ず自分自身の糧となり教員になりたいと思う契機になると思います。そうした機会を大切にしてください。

○ 春頃：3月頃から周りの知人が徐々に就職が決まり、焦りが募りました。そんな中で、私の心の支えとなったのは一緒に面接練習をしてくれた2人の学生です。2人とはもともと知り合いだったわけではなく、集団討論対策講座でたまたま同じグループになったただけでした。しかし、面接に対する姿勢が非常に参考になるものであったため、一緒に面接練習をして自分も上手になりたいと思い、戸塚先生経由でご連絡させていただきました。教職課程センターに同じ学科の友人がいなかった私にとって2人の存在は大きく、面接練習だけでなく、面接シートの添削やお互いの悩みを共有することで受験勉強を共に頑張る仲間ができました。私が合格した大きな要因がこの受験仲間を作ったことです。法政大学のように気軽に受験を共にする人に合える機会は貴重です。面接練習や教職講座の際に勇気を出して声をかけてみてください。

(今年度、社会科で東京都と静岡県、2つの自治体に合格したKさん)

★「焦ってはいけません。小さな歩みの一步一步が積み重なり、相乗効果を生み出していきます」

「1次試験対策は3年の冬から春休みが勝負」と言われます。4年生になると5月下旬から教育実習が始まり、実習中はほとんど勉強ができなくなるからです。まずは、自学自習の習慣とモチベーションアップが重要です。センターでの講座内容が復習になるくらいのペースで勉強を進め、「よし、理解した」と自信がついてくれば後は大丈夫です。「確実で無理のない計画」「着実に主体的な実践」が勝敗を分けます。冬休みからの計画的な取組みを期待します。

上記の格言は、京セラやKDDIの創業者である稲森和夫さんの言葉です。教員採用試験は1次、2次ともに地道な準備が要求される試験であり、人物重視の様相が一層強まっています。まずは1次の筆記試験に受かることが先決ですが、1次の終了後から2次の対策では間に合いません。計画的に早めに対策を講じる必要があります。教職課程センターとしては、これらの対策に関しても全力で支援していきます。これからも積極的な活用をお待ちしています。



◎1月 教職課程センター相談指導の予定◎

事前申込制(来室・メール・電話)

	9:00~12:20	13:20~16:00		9:00~12:20	13:20~16:00
11(火)	個別相談	個別相談	21(金)	個別相談	個別相談
12(水)	個別相談	個別相談	25(火)	個別相談	個別相談
13(木)	個別相談	個別相談	26(水)	教職教養対策講座	個別相談
14(金)	個別相談	個別相談	27(木)	集団討論対策講座	個別相談
18(火)	個別相談	個別相談	28(金)	論作文対策講座	個別相談
19(水)	個別相談	個別相談	31(月)	教職教養対策講座	個別相談
20(木)	個別相談	個別相談	★ 第2タームの申込みを忘れていませんか		

★ 講座は対面を予定していますが、感染症の状況によりZoomで実施する場合があります

◎ 相談指導・各種イベントのお申込は教職課程センター(月~金9:30~17:30)に来室、又はメール(kkc@ml.hosei.ac.jp)、電話にて ☎ 03-3264-5562